

○石狩川下流当別自然再生地（当別町）



初夏の人工湖沼



当別自然再生地

（見学箇所）

- 石狩川下流当別自然再生地（屋外）

（見学時間）

- 30分～90分

（見学目安人数）

- 1枠あたり10人/班×1回 *最大40人

（ただし、見学内容・時間は要調整）

（施設までのアクセス）

- 札幌駅から車で約40分
- JR石狩太美駅から徒歩40分
- 道の駅とうべつから徒歩20分

（施設概要）

- かつて、石狩平野には広大な湿原が広がっていましたが、北海道開拓の歴史の中でその9割以上が失われました。
- 石狩川と当別川の合流点では、約10年前に湖沼や草原、湿地帯を再生する取組を行いました。
- 札幌市近郊にありながら、春はエゾエンゴサクや水芭蕉、晩春は小鳥のさえずり、初夏はヨシ原の萌える緑とツバメ、秋はヨシ原の穂や水鳥など、石狩川の原風景と花鳥風月を楽しむことができます。



晩秋のヨシ原



初春の白鳥

○石狩川下流当別自然再生地（当別町）

【駐車場・その他施設】

駐車場 大型バス1台まで、ゲート付近の堤防上に駐車可
トイレ 道の駅とうべつを利用(多目的トイレを含む)
エレベーター なし(屋外)

【観光情報ほか】

- ・施設近傍の石狩川生振（おやふる）捷水路と、茨戸川の岡崎式単床ブロック護岸は、土木学会選奨土木遺産に選定されています。
- ・平成29年10月にオープンした道の駅とうべつは、農産物や焼きたてパンが人気です。
- ・はまなすの丘公園：1,500mに及ぶ砂嘴（さし）の上であり、海浜植物や石狩灯台・夕日など、写真映えする景色が豊富です。
- ・マクンベツ湿原：石狩川の最下流の蛇行部に広がる約130haの湿原で、道内屈指のミズバショウ群落で有名です。
- ・当別町出身の作家、本庄睦男「石狩川」の文学碑

【注意事項】

- ・洪水・地震等への対応などの都合により、日程変更又は見学中止となることがあります。
- ・敷地内での事故・トラブル等については、責任を負いかねます。

【位置図】

